

緩和ケア通信



緩和ケア市民公開講座を開催しました

院内研修 81人
市民公開講座 116人
より参加
いただきました！

宮城県で在宅緩和ケアを行なっている岡部健先生をお招きし、“在宅ホスピスの現状と未来”と題して講演会を開催しました。11/13は院内研修、11/14には市民公開講座とし、院内・院外ともに多数の方にご参加をいただき、ありがとうございました。



岡部医院では、地域の社会資源に詳しいソーシャルワーカーやケアマネジャーが病院に出向き、病院スタッフと退院調整を行って在宅緩和ケアに移行しています。岡部医院では医師、看護師、ケアマネジャー、MSW、リハビリ、社会福祉士、ヘルパーと医療・介護スタッフを充実させて、地域における一極集中型の在宅緩和ケアを提供しており、仙台市内におけるがんなどの終末期の患者さんの20%を看取っているそうです。

酒田地域においては、病院と地域の在宅スタッフが連携を図り在宅緩和ケアを推進していく必要があると考えます。緩和に興味のある在宅スタッフを集めて、この地域に合った在宅緩和ケアを広げられるよう地域の声を聞き、できることから始めていきたいと思います。そして、患者さんとその家族が望む場所で、その人らしく暮らせる環境を整えていきたいと思います。

酒田地域においては、病院と地域の在宅スタッフが連携を図り在宅緩和ケアを推進していく必要があると考えます。緩和に興味のある在宅スタッフを集めて、この地域に合った在宅緩和ケアを広げられるよう地域の声を聞き、できることから始めていきたいと思います。そして、患者さんとその家族が望む場所で、その人らしく暮らせる環境を整えていきたいと思います。

参加者の声

ケアマネジャー(市民公開講座参加)さんより、がんの方の支援はどうすればよいのか次の日さっそく相談をいただきました♪

最近では病院で亡くなるのがあたり前ようになってきてるなあ…。自宅も含め、本人が望んだ場所で最期を迎えられるようにしたい。
看護師(院内研修参加)

緩和ケアの申し込みかお問い合わせは
お近くの緩和ケアリンクナースか地域医療室(内線:2711)

